

かんたん! 特許情報分析

テーマ：
食事と運動をバランス良く
メタボリックシンドローム対策の
技術動向について

糖尿病をはじめ、高血圧、高脂血症などの生活習慣病は、わが国のみならず世界的な課題となっており、患者や予備群は増加の一途をたどっています。こうした疾病の発症や悪化は、「内臓脂肪型肥満」が大きく関係していることが明らかになっており、「内臓脂肪型肥満」に血糖値、血圧、血清脂質のうち2つ以上が危険域にある場合をメタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)と称し、さまざまな対策が講じられているところです。

10月は、国民一人ひとりの食生活改善に対する自覚を高め、日常生活での実践の促進を目的に昭和24年から食生活改善普及運動月間と位置づけられています。平成20年度からはメタボに関する特定健診・保健指導が導入され、国をあげての総合的な取り組みが本格化していることから、さらに関心が高まっています。

そこで今回は、食事、ダイエット機器・システム、医薬などメタボリックシンドローム対策に関連した技術開発動向の概要をご紹介します。

Point

- ①の時系列件数推移や③の技術ポートフォリオによると、1998年にWHO(世界保健機関)がメタボリック症候群という名称で診断基準を発表したことや、2001年のNCEP-ATPⅢ診断基準の策定、2005年の国際糖尿病連盟(IDF)による腹部肥満を必須項目とした世界統一診断基準の作成などの社会情勢と関連し、技術開発が進展していることがうかがえる。メタボの爆発的な増加状況を鑑みると、今後のさらなる技術開発が期待される。
- ②の技術分類別の公開件数によると、上位分野は、高血圧・高脂血・高血糖治療薬であり、次いで、食事療法などに関する食品となっている。
- 計測器関連が上位を占める装置・システムの中には、④③のようにカラオケメーカーによる歌唱カロリー消費を計測するものなど多岐にわたっており、さまざまな分野に広がるものと思われる。

(1) 時系列公開件数・新規出願人数・新規発明者数の推移

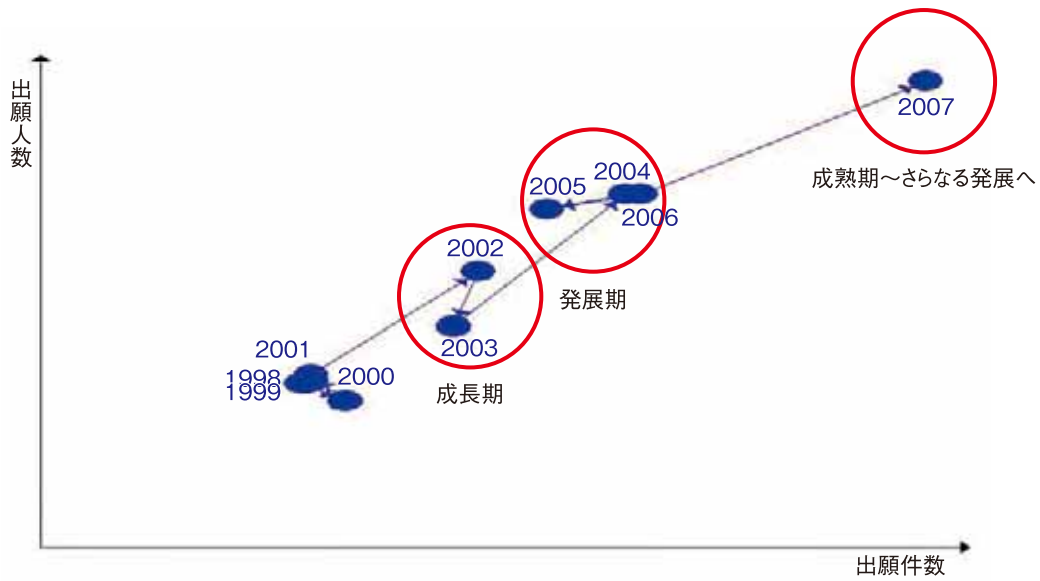
	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007
公開件数	54	53	62	55	89	84	119	103	122	180
新規出願人	55	47	44	47	81	54	95	80	94	123
新規発明者	111	62	92	98	151	140	229	158	227	501

(2) 時系列公開件数 技術分類別

技術内容	公開年	98	99	00	01	02	03	04	05	06	07
代謝系疾患の治療薬(食欲減退薬; 抗肥満薬)		0	0	2	6	11	25	34	27	35	93
代謝系疾患の治療薬(過血糖症のためのもの)		0	0	0	3	6	11	9	10	22	78
代謝系疾患の治療薬(高脂血症治療剤)		0	0	1	4	4	3	10	12	23	73
食品または食料品; その調整または処理(添加物を含有するもの(植物質))		6	5	8	7	13	23	21	18	0	1
その他の特殊な目的の医薬		0	0	0	1	1	0	0	0	16	64
食品または食料品; その調整または処理(栄養価の低下したダイエット用製品)		9	7	5	8	8	8	7	5	10	12
食品または食料品; その調整または処理(添加物を含有するもの)		0	0	0	0	0	0	0	0	30	39
※化粧品あるいは類似化粧品製剤		6	5	10	5	6	10	17	9	0	0
抗高血圧剤		0	0	0	1	1	0	5	5	9	44
植物(被子植物亜門)からの物質を含有する医薬品製剤		3	5	9	4	5	13	12	10	0	2

※はIPC分類の改定時に改廃されたコード

(3) 技術ポートフォリオ分析(出願人数 - 件数)

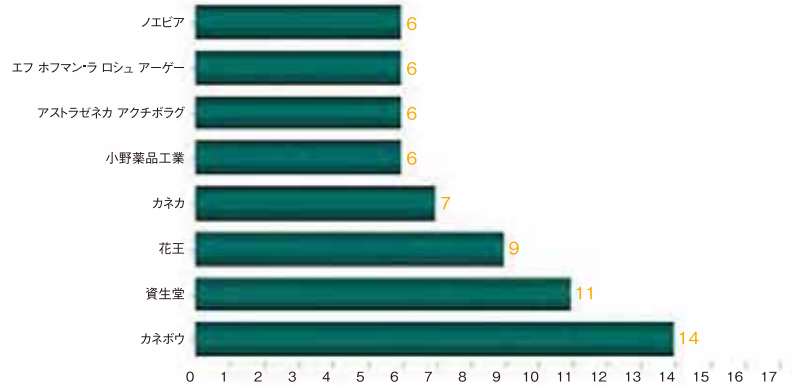


(4) 技術構成要素(キーワード)分析および要素別出願人別件数ランキング

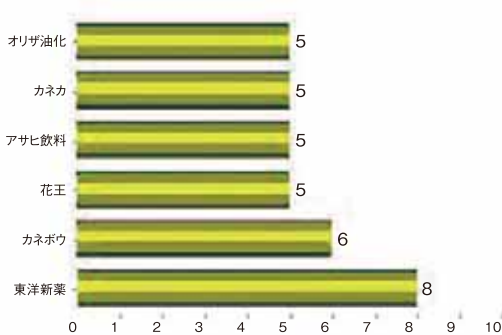
設定キーワード		※件数
技術要素	類義語	
薬	剤、サプリメント	345
食品	食料品	262
装置	機械、システム、プログラム	150

※全921件のうち

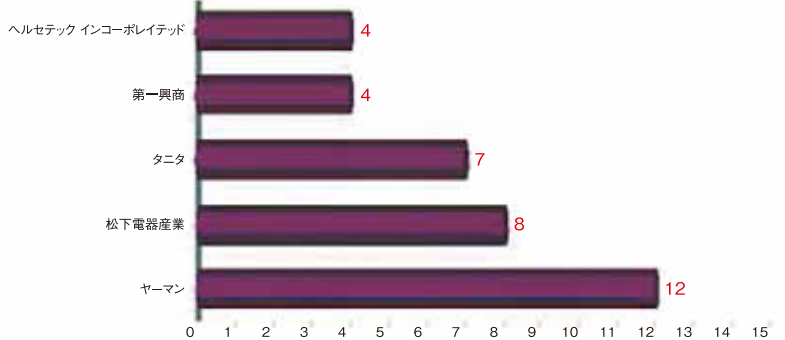
①薬



②食品



③装置



本稿掲載の Patent マップは、「発明協会 特許マップソフト」で作成しました。膨大かつ難解な特許情報を効率的に整理し、可視化した「特許マップ」を活用することは、今や企業戦略には欠かせないプロセスとなっています。「発明協会 特許マップソフト」は、現状把握からその課題を繰り返し検証し、対処方法を立案することができるため、「最適な将来ビジョン」の設計に有効なツールとして、多くのユーザーから高い評価を得ています。また、上記(4)のように設定したキーワードを含む母集団データの件数や文献リストを表示するとともに、複数キーワードの合致率(予測値)をもとに重要な文献を効率的に抽出する独自機能を有しています。

詳細は、発明協会ホームページ (<http://www.jiii.or.jp/mst/mapsoft.htm>) を参照されるか、下記へお問い合わせください。分析用データの収集・提供(有償)のご相談や本稿へのご意見・ご感想もお待ちしております。